

会 議 記 録

政策企画局 市民参加・協働推進課

開催日	平成 24 年 7 月 10 日(火)	開催時刻	13 時 30 分から 15 時 30 分
会議名	上田中央地域協議会(平成 24 年度第 4 回)		
出席者	浅井委員、尾沼委員、河田委員、神林委員、久保田委員、栗内委員、佐藤委員、塩入委員、中村彰委員、中村一樹委員、藤川委員、松澤委員、宮坂委員、宮島委員、宮本委員、村上委員、山浦委員、渡邊委員 (欠席委員) 飯島委員、矢島委員 (事務局) 神林地域振興政策幹、北沢市民参加・協働推進課長補佐、堀内市民参加・協働推進課主査		
会議次第	<p>1 開会(事務局)</p> <p>皆さんこんにちは。第 4 回の上田中央地域協議会を開催したいと思います。</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>皆さんこんにちは。本格的な夏になってきました。暑い中、ご出席いただきありがとうございます。また、さっき出掛に地震があり、長野県北部が震源で木島平と中野市では震度 5 弱だそうです。上田も震度 3 ということで 2 度続けてあったようです。本当に心配です。梅雨には入っているのですが、今年の梅雨は軽いような気がして私も畑に若干、野菜を作っているがもう少し雨が欲しい気がします。なかなか上田は雨が降らない所で、昨日は長和町で夕方もの凄いどしゃ降りになったようです。</p> <p>今日は前回、お願いしましたとおり「地域の課題」について、今後の調査・研究の項目についてのテーマ選定をどうしたらよいか。それぞれ皆さんに考えてきてもらい、今日方向付けしたいということです。それで、この課題について担当課から説明を聞いてから課題を絞るのが良いのか、課題を絞ってそれから担当課の説明を受けるのが良いのか、その辺、ご協議いただいて進めていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。それから、7 月 5.6 日と自治会連合会役員の視察で、山形県長井市の生ゴミ堆肥化施設について視察をしてきたので、それについても報告させていただきたいと思います。よろしくお願いします。</p>		

3 協議事項

- 資料 ・ 中央地域協議会第 4 期の取組課題について
・ 山形県長井市 レインボープランコンポストセンター

会長： それでは会議事項の地域の課題についてですが、前回、皆さんから出していた課題について説明をしていただきながら今日は色々議論をして、第 4 期としての調査研究する課題を絞っていききたいと思います。それでは、個人的にこのような課題を取り組みたいという意見をまとめていききたいと思います。それで、それぞれの担当課から説明を聞いた上で絞った方が良いのか、課題を絞って、それについて担当課から説明を聞いた方が良いのか、どちらの方向にするか、まずお諮りしたいと思います。

どうでしょう。まず、課題を絞った上で担当課から説明を聞いた方がよろしいですかね。

委員： そうですね。(若干名)

会長： 資料を確認しながら、皆さんの方で課題として取り上げていきたい課題について意見をお願いしたいと思います。では、お一人ずつこちら側から今回 4 期としての課題の意見をお聞きしたいと思います。

委員： やはり、先に課題を絞っていく方が良いと考えております。やはり、テーマを絞った上でもっと深く完成させるといふか、そのくらいまで踏み込まないとパフォーマンスでしかないのでは、そのように感じております。

会長： ここで出していただいた課題の中で地域まちづくり方針に沿った具体的にはどれですか。

委員： 具体的には中心市街地の活性化です。特に前回、公衆トイレの件とかありましたので。

会長： 分かりました。次の方お願いします。

委員： 二つありますが、一つは「防災関係」。もう一つは「食に関して」です。テーマとして検討にふさわしい内容かどうか分からないが、これからの高齢化に対して考えていくべきだと思います。

委員： 私は、災害時の備蓄品の確認や、危険箇所の洗い出し、避難場所の確認を中心にやっていきたいと思います。

委員： 私は、高齢化率が高くなっていくこれからの社会にあって、巡回バスが今の対応ではダメだと思う。今後、上田市の市民生活についてどのように考えていくのか聞いて、さらに検討し意見書を出していきたいと考えます。

委員： 私は、旧イトーヨーカ堂跡地の活用に関する調査、研究をしてみたいと思っています。この前、お話したようにバスターミナルを整備して、現在の循環バスを充実させて欲しい。市にどのような計画があるのか伺いたい。

委員： 私は、生活弱者について上田市の救済状況と対応をお聞きしたい。生活保護に対しても国で決められた法律があって、これについて意見書として提案しても難しいと思うので、詳しい内容を福祉課にお願いし、説明をお聞きしたいと思っています。

委員： 私は、前回の協議でどれも大切だと思うのだが、今、急ぐ問題として市立産婦人科病院の問題で、せっかく若いお母さん方が活動してできたので、その後の状況についてとても関心があります。

委員： 私は、防災という観点から、広域避難場所として指定されている神川小学校・神川公民館が洪水ハザードマップの浸水区域内にあるので是非、この問題について検討していただきたい。東日本大震災でも避難所が結局安心できるとは限らない現実があったので。

委員： 私は、前の期の積み残しでもある「歴史と上田城跡公園の整備について」を検討したい。これを実行するにあたり、中心市街地と上田城跡公園をどのようにつなぐか、その辺を含めてもう一度検討をしていきたい。

委員： 私は、中心市街地活性化で、「商店街について」を中心にやっていきたい。

委員： 私は、中心市街地の活性化について、駅前の旧イトーヨーカ堂の跡地を含めた中心市街地の活性化。もう一つは全ての人々にとって「安全・安心なまちづくり」で、防災の部分、市民に認知されていない部分もあるので、徹底しなければいけないと思う。今日の地震で改めて思う。それと「健康・福祉・医療」で、産婦人科病院の件も話が出たが、医療問題は大きな問題だと思うので、この3点をお願い

したい。

委員： 私は、まちづくり方針の2番と3番で、2番の方も積み残しがあるのでやらなくてはならない。3番はハザードマップの見直しがされていなくて、現実にあっていないのでその辺もやらなくてはならない。それと同じく危険箇所についての件で、上田は安全のように見えていますが、ある会で、上小地域の地質の勉強をさせてもらい、そんなに安全ではないと知りました。地質学的にかなり弱い部分もあるということなので、そのような事を含めて安全対策をやりたいなと思っております。

それから今後もそうですが、要望として去年まで我々が出した提言書がありますが、その進捗状況を是非、途中で聞きたいと思う。私達も出しっぱなし、受ける側も受けっぱなしではなくて、進んでないのならその理由等を行政側から聞かせてもらいたいと思う。

委員： 私は、歴史遺産の活用について、継続して検討していきたい。それとそれに伴って駅から旧イトーヨーカ堂跡地利用についても「新市の核となる都市機能の充実と中心市街地の活性化」につながると思うのでこれについて調査、研究したいと思います。

委員： 私は、2番の「歴史的遺産との融合・調和を図るまちづくり」を提言していく必要があると思う。上田城跡公園の辺はどうしても史実に基づいてしていかななくてはならないと思う。大河ドラマ等テレビで放映を行う場合、特にそう考えます。それと、3番の「すべての人々にとって安全・安心なまちづくり」これは安心・安全で楽しく暮らせるまちづくりで楽しくなくてはならないと思う。そのように考えた時に安心・安全で、旧イトーヨーカ堂跡地の活用ですが、私が書かせていただいたことも現実的なものとして研究し、提言を考えております。

委員： 私は、3番の上田城跡公園の研究をしていきたいと考えております。交流・文化施設が2年後にできて、市民会館が取り壊されると決まったそうで、そうすると公園の雰囲気も変わってくると思うし、やはり歴史や観光のためではなくて、市民の心の拠り所のような公園になって欲しいなという気持ちで、何か提案できればと思っております。

委員： 私は、この協議会の趣旨にあっているのか分かりませんが、要望して市の方に提言するという活動では、私の性格にはあってないので、私自身が出来ることということで、3番の「すべての人々にとって安全、安心なまちづくり」の項目で、

何より一番安全に暮らせる事が大事だと思います。それと今、私達がどの程度危険な場所にいるのか、どの程度安全が守られているのか、いざ、危険な時はどうなるのかまだ分かっているようで分かっていないので、他人事ではなくて自分達で出来る事は自分達でやっていきたい。

それともう一つ、4番の自然環境で私は書いていないのだが、皆さんご存知だと思いますが、イオンの南側の土手を見るとアレチウリ以外何も無い状態です。このまま進むとアレチウリ以外の緑が無くなってしまわないかと危機感を持っています。ということで、アレチウリの被害について取り上げて信州上田の自然環境を守っていきたくて考えています。我々自身も出来る問題ではないかと思うので3,4番に絞りたいと思います。

委員： 私は、1番の中心市街地をこれからどうしたら良いのか。そして城跡公園の中も変わっていくということですので、行政から説明をしてもらいながら上手くやっていけたらと思う。

会長： 私は、委員としては防災の関係を研究させてもらいたいと思います。

今、全員の皆さんからお聞きしました。ありがとうございました。それで、今日、欠席されている委員さんのご意見は聞けないのですが、第3期までの地域協議会だと3つの分科会に分かれてもらって、それぞれ自分のやってみたい課題のところに分かれて取り組んできたわけですが、今回も3つの分科会に絞らせてもらってよろしいですか。

今、お聞きした結果でいきますと、資料の「地域まちづくり方針」でいくと1,2,3番の取り組みが一番多かったわけですが、この1,2,3番を課題として取り組んでいきたいと考えますがよろしいでしょうか。

特に市街地の活性化、公園もそうですし、イトーヨーカ堂跡地利用についてもそうですが、私も久しぶりに駅前に行ってみたが、イトーヨーカ堂の跡地は草ぼうぼうで、あんな状態で、いつまでもそのままにしておいて良いのかと思いました。では1,2,3番の中で、2番の歴史遺産は今日の説明にもありましたが、継続のテーマでもありますから、これは第3期からの継続テーマとして一つの分科会として取り組んでいただきたい。先ほど副会長からの意見で1,2番と一緒に考えていく部分も出てくると思いますが、それはそれで、意見の中で調整しながら、最後のまとめの中に入れていけば良いのではないかと思います。それでは1,2,3の分野で行きたいと思いますが、これについて他にご意見があればお伺いします。

委員： 3番の中に5番の課題も一緒にしても良いと思うが。

会長： 5番も3名の方がいますね。この辺どうでしょうか。

委員： この辺は新しい内容でもありますから。医療も安心・安全に含まれますし。

会長： 2番についても市民にとっては安心・安全になる。

委員： 4番も3,5番と一緒になると思う。

委員： 5番では、拠点の整備は既に終わっている。活用というところで3番と一緒にしてはどうですか。

会長： では、医療の関係は。

委員： 5番は医療が一番大事だと思う。

委員： 災害だけではなくて医療も大事だから。

会長： 3番の安心・安全なまちづくりの中に医療も含めて、防災と医療の提言としても出して良いと思いますので、基本的には3番には医療も含めて検討して、1,2,3番の項目に絞ってよろしいでしょうか。

委員： 良いです。(全員)

会長： では皆さんの意見を伺えたので第4期のテーマは1,2,3番で調査研究をしていきたいと思います。これで、事務局の方で何かありますか。

事務局： 私共の方では腹案等ありませんので、委員の皆さんの中でお決めいただければと思います。

会長： それから、先ほど意見が出ましたが、今までの提言、意見の結果、進捗状況について聞きたいと私も確かにそう思います。回答書も出ますが、それから先がどうなっているのかわかりませんので、今まで中央協議会として提言した中で実際に取り組まれて完成したものはありません。だから、これは全体的に進捗状況を聞くというのは提言した課に聞くというのが一番良いですね。それとも政策企画局で代表して言ってくれるのかどうか。

事務局： 原則的には、いただいた意見書、提言書の項目について担当している部署の方からの説明の方がよろしいかと思っています。

会長： では、その進捗状況を聞くのは全員の皆さんで聞くのが良いので、まず次回の協議会にお願いしたいと思う。

事務局： そうしますと平成 18 年、第 1 期からということによろしいですか。

委員： 私も何回か提言させていただきましたが、先輩の皆さんがやってこられたことも含めて、聞かせてもらいたいと思います。

会長： では事務局の皆さんよろしいですか。次回、協議会で説明していただきたいと思います。

事務局： 分かりました。

会長： それでは、課題を決めていただいたので、3 つのグループに分かれていただきたいと思います。挙手をお願いします。

各、分科会グループを決める。

会長： では 1 番は 7 名、2 番は 9 人、3 番は 7 人という事をお願いします。それで事務局からも一人ずつここに入ってもらいますがよろしいですか。今までもそうしてきましたので。

事務局： はい。

会長： それではここで休憩を取らせていただきます。

(休憩)

会長： それでは再開します。すみません。先程、挙手していただいて名前を控えてなかったのもう一度お願いします。

グループごとに名前を確認

会長： はい。ありがとうございました。それで、私の方から提案させていただきますが、議題を決めていただきましたのでリーダーと副リーダーをここで、決めていただきたいと思います。

次回から具体的に取り組む前に担当課の方から先にこれまでの回答等についてお話を聞いた方が、良いのではないかと思いますので、やはり、分科会で分かれてしまうとなかなか一緒に聞く機会がないので、今回は2年と先の中での提言をまとめるので、お手元の資料に担当課の名前が記載してあり、今後説明も必要だと思いますので、分科会で重点的に課題を絞る前に、この説明を聞いてからの方が良いと思います。また、今回は先程の進捗状況を聞いて、1番の中心市街地の活性化に関わる、財政課、交流・文化施設建設室、観光課、都市計画課、この4つの担当課に説明を聞きますがよろしいですか。

委員： はい。(全員)

会長： その次の会では2番の「歴史遺産」、3番「安心、安全」に関わる担当課の意見を聞きたいと思います。またその次の会では「医療の関係」の話を担当課から聞くということで、全体で担当課の方から説明を聞いた上で分科会の中で、課題を絞りこみたいと思います。いかがでしょうか。

委員： 良いです。(全員)

会長： それともう一点、上田市と原田泰治さんの連携事業についてどうしても聞きたいと前回、要望の中にありました。これについても次回、政策企画課の方から説明を聞きたいと思いますがよろしいですか。

委員： 良いです。(全員)

会長： それでは事務局、お願いします。

事務局： 確認をしたいのですが、次回については担当部署の説明ということで、8月の協議会では1番「中心市街地」の説明で、9月の協議会については2番「歴史遺産活用」の項目ですか。

会長： 2,3,4番の項目の説明です。

事務局： そうすると5番「健康・福祉・医療」は10月でよろしいですか。

会長：　そうです。

事務局：　それと次回は、原田泰造さんの件について、よろしいですか。

会長：　次回は原田泰治さんの連携事業についてもお聞きしたい、ということです。

事務局：　分かりました。

委員：　「その他」にある第4ステージの件についてはどうなっているのですか。

会長：　これは前回、節目、節目に協議会へ説明に来られると聞いています。この前の時はまだ内容的に案が市の方でも何も決まっていないという状況という話でしたよね。

委員：　自治連でも今度話し合いがありますけどね。

会長：　だから自治連との話し合いの場をもつという話でしたよね。この中央協議会としても自治連との協議についても含めて話を聞いた方がよろしいということですか。

委員：　というのも、やはり関係あるのですよ。自治連だけではなくて、両方でやっぱり地元でも役員で出ておられない方もいるので。だから時間を取ってもらった方が良い。

会長：　では、この「地域内分権の第4ステージ」の関係は早い方が良いですよ。

委員：　時間が取ればですけど。

会長：　一応、2時間の協議会の中で考えていきたいのですが、次回聞きますか。

委員：　そんなに急がなくても良いですよ。時間の取れる範囲で。

会長：　では、第4ステージの関係は秋頃に聞くということにします。お願いします。それでは、分科会のリーダー・副リーダーを決めていただいて、その後、長井市の生ゴミの視察研修の報告をしたいと思いますのでお願いします。

今から、それぞれ希望した分科会の皆さんで集まっていただいてリーダー選出

したいと思います。

各、分科会リーダー選出

会長： それでは、これで分科会を進めていくわけですが、全体で説明を聞いた後に分科会に入っていたきたいと思います。では次第の「地域の課題について」は以上で終わりにします。次にその他ですが、山形県長井市の生ゴミ堆肥化事業について報告をさせていただきます。

事務局： お配りしてある資料の写真とスライドは同じものです。

会長： それでは、先程お話ししましたが7月5日に自治会連合会の役員会で山形県の長井市へ行ってきました。中央地域協議会の委員さんの中で一緒に行かれた方もおられます。写真を見る前にお手元に資料があると思います。長井市は山形県の南、米沢の上、一番下の方に位置してしまっていて、上田市と比べれば大きい市ではありませんが、生ゴミの堆肥化については非常に全国的にも進んでいて、全国から大勢の皆さんが視察に来るようで、当日も他の地域の方々が視察に訪れていました。結構、大勢の人が来ているようです。

この取組は、行政側で考えたのではなく、市民の側から市との協働による事業を考え推進したようで、現在、運営は行政の職員ではなくて、推進協議会の4名と、シルバー人材センターから派遣されている2名、計6名で運営されています。

説明の中では、正式な事業の名称は「台所と農業をつなぐ長井計画」ということで考えていったようです。同じ市内でも、街なかと地域との連携は上田もそうですが、中心市街地の部分と、郊外の地域があって市が形成されているのだが、同じ市内の地域と地域との連携によって台所から出る生ゴミを資源として活用して、豊かな暮らし、暮らしやすい地域をしようということで長井計画を進めてきたということです。

キャッチフレーズが「人と緑と笑うまち」で、小さい街の中に上田とは違った雰囲気のあるまちでした。それで、各家庭で出た生ゴミを分別し、分別というのは要するに生ゴミである物とそうでない物に分けて、水が切れる籠状のバケツに各家庭で生ゴミを入れていただき、市で回収に来る前に水は切れますから、その水はそれぞれ処理してもらい、生ゴミだけを回収してセンターへ持って行き、全部押し開けるバケツ方式でやっています。

お話を聞く中で女性のパワーが街を動かしていると感じました。この事業については女性の力が物凄く大きかったということです。また、地域のオピニオンリーダーという人たちの理解と協力が大きかったようです。一番は行政のトップの

決断、市長の決断が大きいということで、市長の決断で施設ができたようです。

類似の施設へは一昨年、駒ヶ根市へ中央地域協議会が見学に行きましたが処理の仕方はそのこと同じです。

生ゴミを落として機械で回しながら生ゴミを振り分けて、牛糞と籾殻を入れてできた物を三次処理といいますか、分解して積み上げて約 3 ヶ月後に最終的な肥料になるようです。ただし、脱臭装置がありまして、隣に脱臭部屋もありましたが、本体の工場の方からパイプで臭いを地下で通してもっていき、脱臭の部屋で、脱臭をしていました。しかし、作業場の中に入れば、実際はとても臭くてあの臭いだけが、上田で検討した場合、一番ネックではないかと思いました。あの臭いだと普通のクリーンセンターを作るよりは立地的には難しいと思いました。長井の場所は市街地から少し離れた所で、施設から 200～300 メートル離れた所に住宅がありました。その間には、田んぼや畑が結構あり、臭いはその住宅までいくのか分かりませんでした。確かに施設の中に入ると臭いは大変なものでした。脱臭はしていても臭いの改善は大変難しいと言っていました。

それと、流通の関係ですが、肥料は農協に全て集約され、10 キロ当たり袋詰め 1 杯 241 円で売られています。その肥料を農家の人達に使っていただき、作った野菜を専門に売っている店が街の中にありました。施設を説明してくれた方も行政の方ではなくて、推進協議会の方が説明してくれました。行政の人たちは視察しにくいようです。ただ、私達に説明してくれた方は市役所の OB の方ですが、退職前は全く違う部門にいた方で、施設を作るにあたって、庁内では何をしているのか分からなかったそうです。今は推進協議会の一員となって説明等を行っているようです。ここは有料の施設で、お金を取って見学させていただいています。それでは写真を見ていただきます。

(スライド写真を見ながら説明)

委員： バケツは買うのですか。

会長： 個人個人で買います。建物は平成 7 年に作られたので結構古いです。出来上がった肥料は籾が結構入っていて驚きました。生ゴミを事前に分別してバケツに入れてくださいと広報しているそうですが、結構混ざって入るそうです。

委員： 分別はかなり細かくしているのですか。

会長： 生ゴミとそうでない物が台所に出て、豆腐の容器のラップみたいなビニールの物が混ざったりすることが結構あるようです。そのようなことがないように生ゴミ

ミは生ゴミだけでバケツへ入れるようお願いしているが、結果的にはこうして出てくるようです。

委員： 牛が草を食べる時に金属を食べてしまい、牛糞で出てくるともおっしゃっていましたよね。

会長： そうですね。牛糞でできているから、牛の糞から出てくることもあるようですね。

委員： 牛は胃の中に磁石が入っているからめったに出て来ないけどね。

会長： 他の施設によっては何回も振り分けるようですが、この施設では一度きりだそうです。燃えるゴミとしてクリーンセンターに持って行ってしまおうそうです。

委員： 完成品は食べられるとっていました。酵母で発酵させてあるからバイキンが酵母で分解されているから大丈夫だそうです。

委員： 長井市は人口どのくらいですか。

会長： 3万人弱です。

委員： 生ゴミは全部の家庭で行われているのですか？

会長： 市内 10,000 世帯中、5,000 件だそうです。

委員： 臭いですが建物の中は仕方ないですけど、外はどうですか。

会長： 臭いがしますよ。

委員： 駒ヶ根の場合は中に入ってもそんなに臭わなかったが。

委員： 建物の場所、牛糞と粕殻の割合、生ゴミの質にもよる。製品の一定程度の基準が保てるかが問題。上田市はそこがダメだと安定的にならない。

会長： 対象世帯は市街地の 5,000 世帯で収集箇所が 230 箇所。

委員： 上田の規模で全部できるかは厳しいのですよね。ただ、自家で使っている方もいるから。上田市の場合、市街地でどれだけ生ゴミを自家処理できないお宅が出て生ゴミを減らせるかというところなのですが。

委員： 収集場所は、目安として 20 件に 1 箇所のように。

会長： それでは生ゴミの視察の説明は以上で終わります。後、その他で県営みすず台団地の建替え事業について委員さんからお願いします。

委員： 県営住宅みすず台団地建替事業について、経過を説明。

次回日程確認

会長： 本日はこれで終わりにしたいと思います。大変、ご苦労様でした。

4 次回会議の開催と日程について

第 5 回中央地域協議会 平成 24 年 8 月 20 日（月）

第 6 回中央地域協議会 平成 24 年 9 月 24 日（月）

5 閉 会